

設立の主旨と経緯

- 西暦1000年から1900年までのあいだ、ほぼ安定していた地球の平均気温は、過去100年間で約0.74℃上昇しました。この原因は人類が豊かさを求めて大量の化石燃料を消費した結果であり、このまま対策をとらねば2100年には、最大6.4℃上昇すると予測されています。
- 平均温度上昇が2℃を超えると、地球環境に大きな影響(被害)をもたらすと懸念されています。かけがえのない地球環境を将来世代に引き継ぐのは今を生きる我々の責務です。
- 1997年「地球温暖化防止京都会議(COP3)」において、2008年から2012年までの5年間の平均で、わが国のCO₂などの温室効果ガス排出量を、1990年当時の94%にすること(6%削減)が、わが国の国際公約となりました。(2008年度の排出量確定値は削減ではなくて1.6%増加。)
- 「宇部市地球温暖化対策ネットワーク(UNCCA)」は、産・官・学・民のパートナーシップのもと、地域における地球温暖化防止活動の推進を目的に、2002年10月、宇部市環境共生課内に設立されました。
 設立以降これまでに、
 - 1) 温室効果ガス削減のための生活行動様式改善の促進
 - 2) 温室効果ガス削減に関する普及啓発の促進
 - 3) その他地球温暖化防止対策に関すること
 などに焦点を当てた各種の活動を会員の協力の基に企画、実施してまいりました。
- 2005年7月には、こうした活動をこれまで以上に効率よく実施していくために事務局を現在の場所に移し、組織の見直しと幹事会機能の充実を行い、現在に至っております。
- UNCCAの主旨に賛同いただき、ご協力とご支援をお願いします。

■ 宇部市地球温暖化対策ネットワーク (UNCCA)

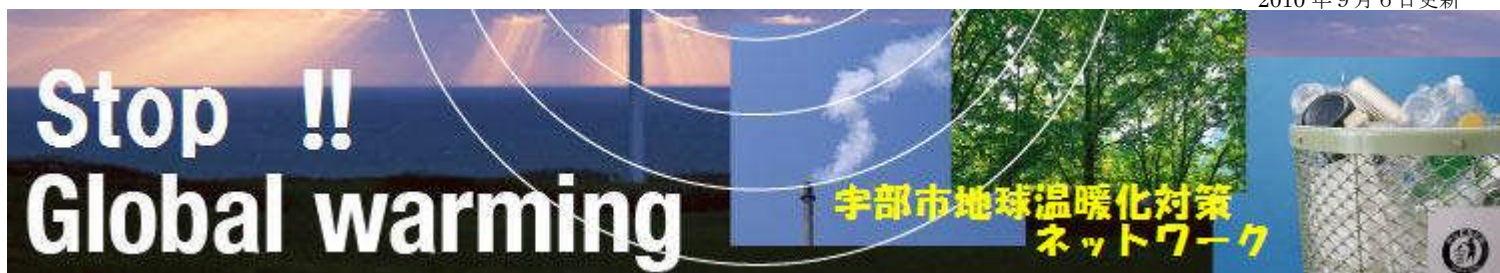
代表 中西 弘

〒755-0032 山口県宇部市寿町2丁目11番28号

TEL./FAX 050-1298-4065

URL. <http://ubeondanka.net/>

Email ubeondankanet@ybb.ne.jp



2010年度事業

基本姿勢

- I ネットワーク全体で市民を巻き込んだ活動を推進する。
- II 各団体・個人の活動で連携効果の期待できるものは普及拡大を支援する。

1. 温暖化対策プログラム・プロジェクトの調査・企画・推進

- ① 各種イベントでの啓発 PR 活動
 - ・エコフェア2010 in UBE
 - ・宇部まつり
- ② 省エネ教育推進業務
 - ・小中学校への環境教育講師の派遣等
 - ・エコ学習トランクによる環境教育
- ③ 会員が実施する環境教育活動の支援
- ④ 地球温暖化防止活動推進事業
- ⑤ 低炭素地域づくり面的対策推進事業
- ⑥ 交通による地球温暖化防止県民運動モデル事業
 - ・「交通によるCO₂見える化」：Cモニター、Dモニター、Kモニター
- ⑦ カーボン・オフセット推進業務

2. ネットワークの体制整備と強化

環境省、県、市、環境ポータルサイト、会員等から発信される環境関連情報をタイムリーに会員に届けて、会員の意識啓発と会員相互の意思疎通を図る。

事務局地図

